

オンライン公開講座

4月
April

コロナの時代と大阪・関西万博 ～博覧会の意味を考える～
海老 良平 (大手前大学 現代社会学部)

5月
May

ポストコロナ社会の生活スタイル ～「リモート〇〇」のある生活～
谷村 要 (大手前大学 建築&芸術学部)

6月
June

“情報”とうまく付き合い、「自分の健康」を考えよう
前田 勇子 (大手前大学 国際看護学部)

7月
July

腸内環境を整えて、免疫力を高めよう！
前川 みどり (大手前大学 健康栄養学部)

開講日

2021年4・5・6・7月 ※各月第3土曜日 13:00～14:30

申込受付期間

全4回 2021年3月1日(月)～3月31日(水)
各回については、実施月の前月末まで

定員

各回100名

受講料

全4回：3,000円 / 各回：1,000円 ※いずれも税込み

形式

Zoom ウェビナーを使用したオンライン講座

申込方法 Webサイトからのお申し込み

大学Webサイト (<http://www.otemae.ac.jp/social/learning/lecture>)
またはQRコード「公開講座」サイト・申込フォームから、必要事項を入力してください。
※受講にあたっての注意事項は裏面をご覧ください。

主催・お問い合わせ先

大手前大学・大手前短期大学 地域・社会連携室 大手前シティカレッジ事務局

E-MAIL: occi@otemae.ac.jp

〒662-8552 兵庫県西宮市御茶家所町6-42 TEL:0798-32-7532 FAX:0798-32-5147

QRコード



協力：一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸

オンライン公開講座

第1回 4月17日(土) 見逃し配信あり

コロナの時代と大阪・関西万博 ～博覧会の意味を考える～

2020年は東京オリンピックをはじめ大規模イベントの延期や中止が相次ぎましたが、関西では2025年に「大阪・関西万博」の開催が控えています。今回の万博は「いのち輝く未来社会のデザイン」がテーマです。コロナによって世界全体が大混乱に陥ったこのタイミングで、我が国で生命を考える万博を開催する意義は大きいでしょう。かつて万博を日本に紹介した福澤諭吉は、万博とは参加する国々が互いの文明に倣い、自国の発展に還元する、それは知識の交易のような場所であると言いました。博覧会の歴史を振り返りながら、4年後の万博で日本が世界に貢献できることは何かを考えたいと思います。

大手前大学 現代社会学部 准教授
海老 良平 (えびりょうへい)

神戸学院大学大学院 経済学研究科経済学専攻博士後期課程修了。博士(経済学)。同大学非常勤講師を経て、2020年より現職。専門は観光学、地域研究。経済の発展による社会生活の大衆化と地域開発(娯楽レジャー地の形成を中心に)の関係について研究している。現在関心のあるテーマは「阪神間モダニズム」への伊丹・灘五郷の酒造家の関与について。神戸港開港後に築かれた神戸外国人居留地についての研究活動も行っている。

第2回 5月15日(土) 見逃し配信あり

ポストコロナ社会の生活スタイル ～「リモート〇〇」のある生活～

新型コロナウイルス感染拡大で広がったのは「リモート〇〇」だった。リモートワーク、リモート授業、リモート飲み会…「新しい生活様式」の下、この「リモート〇〇」は大いに推進されるべき形式としてもはやされています。しかし、この「リモート〇〇」はポストコロナ社会にどう導入されているのでしょうか。講演では、講演者が関わった県民調査の結果なども踏まえつつ、予測されるポストコロナ社会の生活スタイルの一端を示したいと思います。

大手前大学 建築&芸術学部 准教授
谷村 要 (たにむらかなめ)

関西学院大学大学院 社会学研究科博士課程後期課程修了。博士(社会学)。アニメ聖地巡礼現象など、メディア・コンテンツが社会に及ぼす影響について研究している。公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構「ポストコロナ社会の新たな生活スタイル検討」研究委員会委員長を務める(2021年3月末まで)。著書に『ポケモンGOからの問い』(共著)など。

第3回 6月19日(土) 見逃し配信あり

“情報”とうまく付き合い、「自分の健康」を考えよう

新聞、雑誌、テレビ、インターネット…健康や病気についての話題を目にしないうちはありません。それらに一喜一憂し、ストレスを感じながらもめざす健康…それって本当に「健康」といえるでしょうか? 今回、健康の自己決定に関わるいくつかの場面を通して、「よく生きる(生活の質を上げる)ことは、自分で選びとっていくことである」と考える機会としていただきたいと思います。

大手前大学 国際看護学部 教授
前田 勇子 (まえだ ゆうこ)

大阪市立大学医学部看護学科助手、甲南女子大学看護リハビリテーション学部看護学科講師、准教授を経て2019年より現職。専門は成人看護学(急性看護学)であり、手術からの回復を妨げる術後の痛みに対する研究や、がん術後患者に対し多職種によるサポートなどに取り組んできた。生活者として日常生活を送る人はもちろんのこと、患者となられた人のもつ「力」や「強み」を見出し、それらを高める関わりが重要と考えている。

第4回 7月17日(土)

腸内環境を整えて、免疫力を高めよう!

消化・吸収・排泄に関わる腸は、心と体の健康に深く関わるとても大切な器官です。共生している腸内細菌は、腸管機能の調節に関わるだけでなく、代謝系、免疫系、脳神経系などを介して、全身に影響を及ぼしています。善玉菌が多いと腸が整い、体調も良くなります。腸がアレルギー、肥満、うつ病に関係しているのを知っていましたか? 本講座では腸内細菌のはたらきや、免疫や疾患との関係、腸内環境改善のヒントなどについてお話します。

大手前大学 健康栄養学部 教授
前川 みどり (まえかわ みどり)

北海道大学理学部卒業後、東京大学医学部、国立精神・神経医療研究センター、京都大学医学部、理化学研究所(神戸)において、主に細胞内情報伝達機構に関する研究に従事。2010年より大手前栄養学院専門学校(准教授)、2016年より大手前大学健康栄養学部(教授)にて管理栄養士の養成に関わる。専門分野は生化学。現在、腸内細菌叢の多様なはたらきに関心をもち、腸内環境改善のための支援ツールの作成に関して、研究中である。

※各回のテーマならびに内容は、都合により変更が生ずることがあります。ご了承ください。

受講にあたっての注意事項

- ・ 定員に達した時点で受付を終了いたします。
- ・ 申し込み時にいただいた個人情報、講座関係の連絡や大手前学園からの各種お知らせ以外には使用いたしません。
- ・ 入金後の受講キャンセルは、理由を問わずいっさい返金をいたしません。
- ・ 通信環境によっては、映像が途切れたり、音声が届かなくなることがあります。
- ・ ご参加にはインターネット通信環境と、パソコン、タブレット、スマートフォンのいずれかが必要です。ご自身の回線や機器のトラブルで受講できない場合、事務局は責任を負えませんのでご了承ください。
- ・ 技術的なサポートは出来かねますのでご了承ください。
- ・ 写真・動画・音声を記録することは禁止です。

お申し込み・詳細はこちらより

